

大正・昭和期の 日本政治と国際秩序

— 転換期における「未発の可能性」をめぐって —

武田知己・萩原稔 編

▶ A5判・392頁／定価 6,825円(税5%込) 2014年1月刊行予定 ISBN978-4-7842-1717-5

大正・昭和期の日本にはいかなる選択肢があったのか。選ばれなかった選択肢は今に何を示唆するのか。転換期の日本の対外認識や秩序像、政治構想や経済構想、そして中国イメージをめぐり、史料に基づく実証を通じて、新たな解釈や時代像を提示する共同研究論集。

〈「転換期」の日本の国際認識〉〈「転換期」の構想と現実〉〈中国認識の諸相〉という三部構成で、大東文化大学国際比較政治研究所に集まった気鋭の研究者11名が、日本の近・現代史がはらんでいた「未発の可能性」を掘り起こし、今後の日本および世界を展望する。

内容目次

総論

武田知己(大東文化大学法学部教授)・萩原 稔(大東文化大学法学部講師)

I 「転換期」日本の国際認識

- 第1章 近代日本の「新秩序」構想の〈新しさ〉と〈正しさ〉 武田知己
— 国際法・外交専門誌と外務省調書を題材として —
- 第2章 「国際主義者」という名の新渡戸稲造のイメージと実相 五味俊樹(大東文化大学法学部教授)
- 第3章 一九二〇年代『外交時報』にみる日本知識人の対外認識 伊藤信哉(松山大学法学部准教授)
— 半沢玉城と末広重雄を中心に —
- 第4章 戦間期のアジア・ブロック論に関する一考察 大木康充(大東文化大学法学部非常勤講師)
— 土田杏村の「大アジア経済ブロック」構想を中心に —

II 「転換期」の構想と現実

- 第5章 民衆の時代と実業精神 和田 守(大東文化大学名誉教授)
— 武藤山治の経済合理主義と自由主義的政治論 —
- 第6章 日米関係と『実業之日本』—新渡戸稲造の編集顧問時代を中心に— 佐賀香織(大東文化大学国際比較政治研究所客員研究員)
- 第7章 第一次大戦後の世界秩序と日本の「改造」—改造同盟とその周辺— 神谷昌史(滋賀文教短期大学准教授)
- 第8章 三宅雪嶺における「哲学」と「時論」のあいだ—昭和期の言説を中心に— 長妻三佐雄(大阪商業大学教授)

III 中国認識の諸相

- 第9章 近代日本における中国認識の一側面 萩原 稔
— 辛亥革命期における「五族共和」論への関心を中心に —
- 第10章 東亜同文書院の「未発の可能性」について 武井義和(愛知大学東亜同文書院大学記念センター研究員)
- 第11章 長野朗の外事評論 西谷紀子(大東文化大学国際比較政治研究所客員副研究員)

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel. 075-751-1781 fax. 075-752-0723
http://www.shibunkaku.co.jp E-mail: pub@shibunkaku.co.jp

注文票

発行: 思文閣出版

(京都 取引コード 3402)

冊数	冊	大正・昭和期の日本政治と国際秩序 本体6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1717-5	
お名前		tel	
		e-mail	
ご住所	〒		
送本方法	☐ 書店経由 (このちらしを書店にお渡し下さい) ☐ 代 引 (書籍代+送料を現品と引き替えにお支払い)		本書HPのQRコード

書店番線印

地域社会から見る帝国日本と植民地

松田利彦・陳延媛編

朝鮮・台湾・満洲



「支配される側」の視点と「帝国史」という視点——異なるレベルの問題に有機的関係を見いだすため、国内外の朝鮮史・台湾史研究者が多彩な問題関心を持ち寄り植民地期の地域社会像を浮かび上がらせる。国際日本文化研究センター共同研究の成果。

▶A5判・852頁／定価 14,490円

ISBN978-4-7842-1682-6

青島の都市形成史:1897-1945

樂玉爾著

市場経済の形成と展開

青島がドイツ・日本との間に持った経済関係や、その関係が築かれた歴史的要因、青島の経済発展の過程や特徴、さらに青島が全中国へ与えた影響を解明。日中両国の広範な資料を用いることにより、詳細かつ中立的・客観的な立場での考察を試みる。

▶A5判・364頁／定価 7,140円

ISBN978-4-7842-1453-2

※日中戦争から世界戦争へ

永井和著

華北に利権を求める日本。イギリス・アメリカ・ソ連を相手にしてどのような対応をしたのか。日本が世界戦争への道を歩んでゆく姿を明らかにする一書。【内容】東アジア20世紀史の中の日本／日本陸軍の華北占領地統治計画について／日中戦争と日英対立／1939年の排英運動／日中戦争と帝国議会／日中戦争と陸軍慰安所の創設

▶A5判・516頁／定価 7,980円

ISBN978-4-7842-1334-4

※日中戦争についての歴史的考察

明石岩雄著

日中戦争の全面化は、太平洋戦争への決定的転換点であった。またその結果は、日本の対中国政策の破綻でもあったとともに、中国市場の全面的開放と開発という、国際資本の試みの挫折といえる。本書は、日中戦争の原因について歴史学から考察する。

▶A5判・352頁／定価 5,775円

ISBN978-4-7842-1347-4

立憲国家中国への始動 明治憲政と近代中国

曾田三郎著

従来の単線・単純な辛亥革命史研究の枠組みを打開すべく、立憲国家中国の形成という観点から叙述する中国近代史。内閣制を中心とする行政制度の改革や、省制・省政の改革を軸に、大隈重信などの政治指導者や、有賀長雄のような伊藤系の法学者などの影響を具体的に把握することで、明治憲政の影響を動態としてとらえる。

▶A5判・400頁／定価 8,400円

ISBN978-4-7842-1464-8

古井喜実と中国 日中国交正常化への道

鹿雪瑩著

国交正常化に大きな役割を果たし古井喜実(1903-95)に注目し、未公開資料をふくむ「古井喜実文書」ほか日中の資料を駆使しながら、古井を中心とした自民党内親中派による国交正常化への軌跡、交渉の裏側を総体的に検証。国交回復から40年、時流に流されず、みずからの信念を貫いた気骨の政治家の姿を追う。

▶A5判・356頁／定価 3,990円

ISBN978-4-7842-1590-4

※歴史とアイデンティティ

山口定・Rルブレヒト編

日本とドイツにとっての1945年

日独比較現代史の連続シンポジウムの記録。両国の歴史的体験の共通点と相違点を明らかにする【内容】転換の年1945年／第二次世界大戦下の日本とドイツ／日本とドイツにおける全体主義の精神的・イデオロギー的諸前提／新たな転換点に立つ日本とドイツ

▶A5判・500頁／定価 9,030円

ISBN4-7842-0795-3

岩倉具視関係史料[全2巻]

佐々木克・藤井讓治・三澤純・谷川穰編

◎憲政資料室所蔵文書・対岳文庫所蔵文書・内閣文庫所蔵文書に次ぐ、第4の岩倉具視関係文書群(平成25年重要文化財指定)の原本校正を綿密に行い、完全活字化。

◎1720点の文書が273巻に成巻されていて、東京奠都のいきさつを示す史料や、閣議の議案や決議の過程がわかる史料など、これまでに他の史料集では紹介されていない未刊初刊や書類が多数掲載。

【解題】『岩倉具視関係史料』の史料的价值(佐々木克)／『岩倉具視関係史料』の伝来について(藤井讓治)／『岩倉具視関係史料』の魅力(三澤純)／さまざまな岩倉像へ(谷川穰)

▶A5判・総1108頁／定価 25,200円

ISBN978-4-7842-1659-8

※近代日本と幕末外交文書編纂の研究

田中正弘著

外交文書の編纂事情、編纂した外交文書集の内容構成、諸本の性格、また徳川幕府外国方の編纂構想から明治初期外務省の編集組織の確立過程、太政官における幕末外交文書編纂の開始事情とその後の推移など、広範な第一次史料を駆使してその全容をはじめ具体的に考察。

▶A5判・480頁／定価 10,290円

ISBN4-7842-0958-1

※条約改正交渉史 1887~1894

大石一男著

1888(明治21)年黒田清隆内閣の大隈重信外相による条約改正交渉から、1894年伊藤博文内閣の陸奥宗光外相による日英通商航海条約締結までの時期について、以下の三つの視角—日本側の交渉戦略・交渉戦術、交渉相手の欧米列国の動向、日本国内における諸個人・諸集団の協力・対抗・競争の側面—から分析する。

▶A5判・356頁／定価 6,825円

ISBN978-4-7842-1419-8

日本近代化の諸相

梅溪昇著

第一部に概論として明治維新史研究の論稿2篇、第二部に初期条約改正・陸海軍・日清戦争などの個別研究9篇、第三部に但馬・尼崎・紀州地域における近代化の特質と様相をさぐる諸論文8篇、さらに史料1篇を収める。いずれも史料と先行研究を踏まえた緻密な論文で、「梅溪史学」の結晶をみることができる。図表多数収録。

▶A5判・650頁／定価 15,750円

ISBN4-7842-0364-8

※光芒の大正

川内まごころ文学館蔵

改造社関係資料研究会編

山本實彦関係書簡集

川内まごころ文学館所蔵山本實彦または改造社宛に届いた書簡のうち、雑誌『改造』が最も華々しく光り輝いた大正8年(1919)から昭和5年(1930)までの書簡を詳細な解説とともに活字化。収録書簡132通、差出人82名の内訳は小説家が最も多く、学者、思想家、社会運動家など。

▶A5判・290頁／定価 5,250円

ISBN978-4-7842-1459-4

政教社の研究

中野目徹著

「国粋主義」を主唱して明治の思想界をリードした政教社の存在形態を三宅雪嶺・志賀重昂・内藤湖南らの人物像と組織及び機関誌の全貌を検証し、政教社がこころみ実践運動と思想の展開をあつづける。

【内容】政教社研究の視点／明治15年の書生社会／「国粋主義」の思想形成／政教社の設立／「国粋主義」の理論と実践／政教社の変貌 他

▶A5判・340頁／定価 7,350円

ISBN4-7842-0771-6

西村茂樹研究 明治啓蒙思想と国民道徳論

真辺将之著

明治の啓蒙思想家・道徳運動家である西村茂樹の思想について、従来の「保守」と「進歩」という二項対立的な枠組みから脱却し、時代状況に応じた問題意識の変遷と主張の展開を、史料に基づいて跡づけることにより明らかにする。

▶A5判・488頁／定価 8,190円

ISBN978-4-7842-1491-4

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鳴東通信』を年4回無料でお送りしています。
電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。